

～いろはにほへとで海老名をお散歩～ 海老名郷土かるたの旅

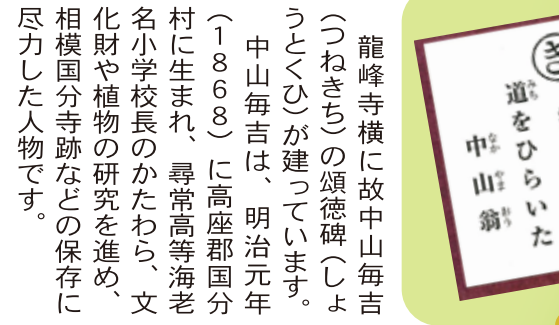
海老名郷土かるたをご存知ですか？
昭和52年に発行以来、好評を得ている海老名の史跡、歴史などを詠み込んだいろはかるたで、よみことは市民からの公募によるものです。今回は今年の干支にちなんで「う」「さ」「き」の札をご紹介します。

鳳勝寺は、昭和17(1942)～1944)、相模湖ダム建設により水没する旧津久井郡日蓮村勝瀨(現・相模原市)が海老名に集団移転した際に、現在地に移転してきた寺院です。昭和24年に地区名も勝瀨となりました。隣接する八坂神社の参道に移住記念碑が建てられ、当時の思い出が記されています。

龍峰寺横に故中山每吉(つねきち)の頌徳碑(しよとうとくひ)が建っています。中山每吉は、明治元年(1868)に高座郡国分村に生まれ、尋常高等海老名小学校長のかたわら、文化財や植物の研究を進め、相模国分寺跡などの保存に尽力した人物です。



永享の乱(1438年)のおり、今泉館から当主・一色伊予守六郎の室である護王姫が、落ち延びる際に産気づき子供を出産したことから、この地名が生まれたとの伝説があります。



かるた販売中

1組1,000円(送料210円)市役所地下売店で頒布しています。

えびな郷土かるたの旅はインターネット放送局でも動画配信中です。ぜひご覧ください。http://www.ebinafield-itv.jp

編集後記

年金は60歳からの問題だからと見過ごしてしまいがちですが、自分のライフスタイルを考え、見直すきっかけにつながります。

てくれればと思います。寒さが厳しい時期ですが、街路樹の芽吹きももうじきです。暖かな「春」が待ち遠しいです。(き)

素敵なランチタイムを

12月24日、第5回えびな小さな音楽会「クリスマスコンサート」が開催され、市役所1階エントランスホールは「童謡倶楽部《萌》」のみなさんの優しく元気な歌声でいっぱいになりました。

楽しみにしていた人はもちろん、偶然訪れた人も、合唱を聴いたり、一緒に歌ったりしてランチタイムのひとときを楽しみました。

人と人を結ぶ 架け橋として

12月15日国際協力機構(JICA)の青年会外協力隊としてグアテマラ共和国に派遣される西田泉(にしだ・いずみ、大谷北在住、25歳)さんが内野市長を表敬訪問しました。

西田さんは、小学生から続けている卓球の知識と経験を生かし、現地で指導者として活動するそうです。